

当社は、京都・滋賀・福井に拠点を置き、ダンボールケースをメインとしたあらゆる包装資材を取り扱っている会社です。



●京都市、新たな環境基本計画を策定 —「2050年CO₂ゼロ」へ向け脱炭素政策を加速—

京都市は4月1日、「京都市環境基本計画2026-2030」を策定しました。同時に、地球温暖化対策計画や循環型社会推進基本計画、生物多様性プランも改定され、脱炭素社会の実現に向けた新たな方向性が示されました。

新計画では、住宅への太陽光発電設備導入支援や断熱改修補助の強化、市民参加型の環境学習推進などを柱としています。

市は「2050年CO₂排出実質ゼロ」を掲げ、暮らし・産業・観光を含めた京都全体での環境負荷低減を目指しています。

また、地球温暖化対策を身近に感じていただけるようにと「2050京（きょう）からCO₂ゼロ条例」という愛称も発表され、市民向けの「どこでもトーク」制度も各地で開催されるなど、地域単位で環境課題を話し合う機会が広がっています。

清水寺・六波羅蜜寺から スマートごみ箱を寄付



5月、清水寺と六波羅蜜寺から京都市へ「スマートごみ箱」が寄付され、お披露目式が行われました。このごみ箱は、ごみの量を自動で検知し圧縮する機能を備えており、観光地でのごみ散乱防止や回収効率向上につながると期待されています。

京都市では近年、観光客増加によるごみ問題への対応が課題となっており今回の取り組みは“観光と環境保全の両立”を目指す新たな試みとして注目されています。



IoTスマートゴミ箱 SmaGO とは

ソーラー発電
環境にやさしい
発電方法です。



ゴミを1/5に圧縮
ゴミがゴミ箱から
溢れません。



クラウド通信
通信機能で溜まって
いるゴミの量を確認
できます。



ゴミ箱をIoTにしたら、働き者のゴミ箱になりました。

今回紹介したニュースには、「脱炭素」「循環型社会」「地域参加」という共通点があります。歴史と自然を守りながら、持続可能な都市をつくる取り組みが、京都各地で少しずつ広がっています。

仕事はかどる音楽で集中力アップ

音楽を上手に活用すると、集中力を高めたり、気分をリフレッシュしたりできます。さらに、音楽は発想力を刺激するため、クリエイティブな仕事をしている人にもおすすめです。ただし、好きな曲を流すだけでは逆効果になることもあるため、選曲には注意が必要です。



音楽を聴くと仕事の集中力が高まる理由

仕事中に音楽を聴くと、いわゆる“快樂ホルモン”であるドーパミンやβエンドルフィンが分泌されます。ドーパミンが分泌されることで集中力やモチベーションが高まり、仕事へのやる気を引き出すことができます。

仕事に集中するための音楽の聴き方のポイント



歌詞のない曲を選ぶ

歌詞があると言葉に意識が向いてしまうため、集中力が途切れやすくなる。歌詞のない曲を選ぶことで、作業に没頭しやすくなり、リラックス効果も期待できる。

「ポモドーロテクニック」と併用

ポモドーロテクニックとは、25分間の集中作業と5分間の休憩を繰り返す時間管理術である。集中力が持続しやすくなり、作業効率の向上が期待できる。

音量は小さめに設定する

周囲の会話や電話の呼び出し音が聞き取れる程度の音量が理想。大きすぎる音は逆に集中を妨げる。

作業用プレイリストを作っておく

毎回曲を選ぶ手間が省け、スムーズに仕事へ取りかかることができる。目的別にプレイリストを用意しておくと、さらに効率アップにつながる。

おすすめ音楽

クラシック・アンビエント・エレクトロニカ・ボサノバ・ソルフェジオ周波数など

働き方改革が進む中で、「他にできる取り組みはないだろうか」と感じている方も多いでしょう。そんな時こそ、作業内容に合わせて最適な音楽を取り入れ、効率よく仕事を進めてみてはいかがでしょうか。



ホームページもぜひチェックしてください！
<https://keiji-p.com/>

本社
〒601-8392 京都市南区吉祥院内河原町10
TEL 075-315-3151 / FAX 075-315-3152

@keiji_pack

